

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 5 日

事務事業名		子ども読書活動推進(計画策定)事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020201001061
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名	O202 生涯学習・芸術文化活動の推進							生涯学習課
	政策名	O2 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
	施策名	O2 生涯学習・芸術文化活動の推進						グループ	生涯学習G
	手段名	O1 ①自主的な活動の支援と学習機会の提供						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	06	01	00	生涯学習推進事業		
						単年度繰返し (令和3年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠 「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)第9条第2項									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律154号)の成立によって、本市においても令和6年度に開館する桜川市立図書館の運営状況に合わせて「子ども読書活動推進計画」を策定する必要がある。 桜川市立図書館開館後から、計画策定に向けて始動予定である。	【令和6・7年度】 ○計画策定までのスケジュール作成

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
策定委員会を開催し、子ども読書活動推進計画を策定する。	策定委員会の開催数	回	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
	ワーキングチームの開催数	回	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
0歳から18歳まで	0歳から18歳までの人口(4月時点)	人	5,237.00	5,005.00	4,768.00	4,500.00	4,300.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
子どもの読書環境の充実を図る計画を策定し、子ども読書活動に関する取り組みをさらに進める。	推進計画の策定数		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0		
		県支出金 千円	0	0	0		
		地方債 千円	0	0	0		
		使用料・手数料 千円	0	0	0		
		その他 千円	0	0	0		
		一般財源 千円	0	0	0		
		事業費計(A) 千円	0	0	0		
	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	05年度事業費 実績(千円)			06年度事業費 予算(千円)		
		合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容 ※年度ごとに事業内容を記入する	06年度の事業内容 ○計画策定までのスケジュール作成	07年度の事業内容 ○計画策定までのスケジュール作成	08年度の事業内容 ○策定委員会設置要綱の策定 ○委員の選出・委嘱 ○策定委員会・ワーキングチームの開催 ○アンケート調査の実施
----------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--

事務事業名	子ども読書活動推進(計画策定)事業	事務事業No.	20201001061	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?					
平成13年に国において「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、平成14年には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定された。 国、及び県の計画を基本とし、桜川市の推進状況を踏まえて計画を策定するものとする。					
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?					
図書館や図書室に行きやすいきっかけづくりや読書に専念できる環境を提供するなど、あらゆる子どもに対応したサービスが期待されている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 『桜川市第2次総合計画 後期基本計画』の基本理念である「Ⅱ生きがいを育む学びのまちづくり」の中で、図書館・室の利用者増加に繋がる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項に規定されており、市町村は県が策定した子ども読書活動推進基本計画を基に施策についての計画を策定するよう努めなければならないと定められている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある これから計画を策定するため、他市町村の計画を参考により良い桜川市にあった計画を策定し、子どもの読書活動の推進活動に反映できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 子どもが本と触れ合う時間が減少し、子どもの読解力や想像力・思考力などの基礎となる学習能力を培う場が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 ブックスタート事業、公民館読み聞かせ事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 子ども読書活動推進計画に基づき、読書活動に関わる各事業を展開することができる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 計画を策定には、子どもの教育に関わる部署との協力が必要であり、子どもの学習教育に関わる部分なので削減はできない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 0歳~18歳を対象としている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	子ども読書活動推進計画は桜川市立図書館開館後に、図書館運営協議会等の協力を得て計画を策定していきたい。																											
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性																													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 計画を策定していないため、現時点で特になし。		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○																										
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認